

中国・浙江省嘉興市における研修実施について (研修のテーマ:「循環型社会と環境管理技術」)



財団法人 国際科学振興財団
Foundation for Advancement of International Science (FAIS)

平成20年8月2日から6日の5日間、中国・浙江省嘉興市の嘉興学院内にて、「循環型社会と環境管理技術研修」を実施しました。

この研修は、嘉興市からの要請を受けたFAISが、海外技術者研修協会(AOTS)の「基盤人材育成プログラム」の一環として、嘉興学院・嘉興市環境保護局らの協力を得て実施したものです。

地元企業の管理者・技術者である研修生50名を前に、FAIS研究員(筑波大学名誉教授)である前川孝昭先生が挨拶をし、開講を宣言しました。

8月2日の開講式には、嘉興市の柴永強副市長をはじめ、日本貿易振興機構上海センターの岩田副所長、茨城県上海事務所の矢野副所長、嘉興市環境保護局の翁建栄局長らの参席を賜り、盛大にその幕を開けました。

当日は、日本経済新聞社上海支局ほか、多数の地元メディアが取材に訪れ、研修生や講師陣に取材をする光景が見られました。

前川先生は冒頭の挨拶で、「エネルギー不足や環境汚染の深刻化に伴い、生活・ビジネス両面で、18世紀の産業革命にも匹敵する大変化が起こるだろう。この変化をどうとらえられるかによって、チャンスをものにできるかどうかが決まる」と発言されました。

これに対し、柴永強副市長は、「今回の研修を通じて、循環型社会構築の重要性を理解し、環境管理技術を向上させて欲しい」と述べ、環境汚染の改善に向けた市内企業の参画に対する行政の高い期待を表明されました。



挨拶をする前川孝昭先生



挨拶をする柴永強副市長



開講式来賓
(左から)
茨城県上海事務所/矢野副所長、嘉興市環境保護局/翁建栄局長
嘉興学院/杜歆政、嘉興市副市長/柴永強、前川先生、氷鉦先生、
JETRO上海/岩田副所長



開講式の様子



杜欽政副院長



挨拶をする岩田泰副所長

また、嘉興学院の杜副院長は、「1920年代は石油、40年代は鉄鋼、60年代は自動車、80年代は情報（IT）が産業の主役に躍り出た」と振り返った上で、「21世紀に入り、資源不足と環境汚染の深刻化は明らかであり、これから主役となる産業は『エネルギー・環境分野』だ」と説明されました。

最後に、今研修にご後援をいただきましたJETRO（日本貿易振興機構）上海センターの岩田副所長よりご挨拶があり、「従来より『魚米の郷』と称された長江デルタ地域の環境が、近年の急速な経済発展にともない汚染されつつある。この研修を通じ、環境管理の技術をしっかりと学び、この地域の環境保全に役立ててほしい」と発言されました。

その後、出席者全員による記念撮影をし、海外技術者研修協会（AOTS）紹介ビデオを見た後、5日間に渡る研修がスタートしました。



開講式の様子

研修の様子



この研修の講師は、FAISの研究員である前川孝昭先生(筑波大学名誉教授)、水鉋揚四郎先生(筑波大学生命環境科学研究科教授)、及び嘉興学院副院長の杜歡政先生(循環経済研究所教授)の3名が務め、それぞれ「バイオマス資源の利用・活用及び水質改善技術」、「資源・エネルギー・環境技術を使った循環型地域社会の構築」、「廃棄金属のリサイクル」をテーマに講義を行ない、様々な視点から環境問題の現状と環境保全の取組みを考える内容となりました。研修生からは、連日多くの質問が寄せられ、先生方もそれに応えようと熱心に指導をされていました。

特に、地元の水処理関係の企業からの参加者が多かったことから、前川先生への質問が多く見られ、日本の水処理技術や管理システムへの関心の高さがうかがえました。また、「カーボンニュートラル」の考え方について、水鉋先生への質問も多く、熱心に受け答えをされていました。杜先生は、中国が今後取り組むべき課題を、欧米諸国や日本との比較を通して提議し、研修生は真剣に聞き入っていました。



挨拶をする超法栄氏(研修生代表)

5日間で計23コマの講義・演習という短期集中型の研修でしたが、先生方の熱心な指導のもと、50名全員が無事全ての課程を終え、修了証書を受け取りました。

閉講式では、氷鮑先生より「これからの企業の管理者・技術者は、一つの技術や知識だけに頼ってはいけいない。これからは二束のわらじを履き、環境問題に対し統合的にアプローチできる能力を養う必要がある」と挨拶されました。



挨拶をする氷鮑揚四郎先生

また、修了証書授与のため出席されたAOTS北京事務所の田中所長は、「これから大事なことは、皆さんがここで習得した環境管理の技術や知識を、それぞれの会社に持ち帰り、社内で他の社員を教育することである。そうすることによって、会社全体が良くなる」と挨拶されました。

最後に、研修生代表の超法栄氏(浙江桐郷市清泉浄水剤厂 工場長)より、「講師の先生方の熱心な指導に感謝するとともに、この研修を通じ多くの知識を習得できたこと、また他業種の人たちとの交流の場が持てたことで、とても良い経験となった。」と挨拶の言葉を述べ、研修の幕が閉じられました。



(最後に)

嘉興市における「循環型社会と環境管理技術研修」は、前川先生・氷鮑先生、また杜先生をはじめ嘉興学院のスタッフの皆さんにご協力をいただき、成功裏に終えることができました。

この研修を通じ、当地の民間企業の人たちに環境管理の大切さや、その保全の方法、循環型社会構築に関わる技術等を伝えることで、たいへん意義のあるものとなったと考えます。

中国では今、各地で非常に深刻な環境問題が引き起こされており、このような研修はそれらの問題解決の一助となるものと考えております。引き続き、環境をテーマとした研修を実施し、より多くの環境人材の育成に貢献していきたく思います。

FAIS事務局



挨拶をする田中所長